

平成20年7月23日開催の第1回障がい者部会において、センターの予定候補者の選定について市長から諮問があった。議事録によると、センターの施設概要、実施事業等及び指定管理者募集の概要として主にII型事業の事業概要と利用状況について説明を行っている。センターの施設概要について、委託料は、施設管理費（光熱水費、保守管理業務、環境維持管理業務に係る経費等）と事業運営費（人件費と運営費）の二つから構成されていることについて説明を行っている。

② 第2回障がい者部会について

平成20年8月18日開催の第2回障がい者部会において、事業実施要綱（案）、募集要項（案）、選定基準（案）について審議を行っている。

③ 第3回障がい者部会について

センター指定管理者は、平成20年9月に公募したところ、現指定管理者である（一社）那覇身協1団体のみの応募であった。平成20年10月21日開催の第3回障がい者部会において、（一社）那覇身協を予定候補者として選定、同年12月議会の議決を経て当該団体を指定管理者として指定した。議事録によると、応募団体は（一社）那覇身協1団体のみであること、また当該団体だからできる優位性について説明を求めているほか運営方針、実施体制、事業内容、利用者の安全対策等の具体的な事業運営に関し審議が行われている。

(2) 基本協定の締結状況

① 指定期間 : 平成18年4月1日～平成21年3月31日

協定締結日 : 平成18年3月31日 (単位 千円)

年度	基本協定 (上限額)	年度協定(A) 指定管理料 (管理運営費)	業務委託料 (II型事業等) (B)	合計(C) (C)= (A)+ (B)
18	21,786	5,506	16,700	22,206
19		8,140	33,400	41,540
20		8,140	33,400	41,540

② 指定期間 : 平成21年4月1日～平成26年3月31日

協定締結日 : 平成21年3月24日

基本協定 (上限額) : 2億770万円

各年度協定額 (平成21年度～平成25年度) : 4,154万円

(3) 事業の実施状況

① 条例第3条に規定するセンターの事業

第1号 : 法第77条第1項第9号の事業

第2号 : 法第5条第1項に規定する障害福祉サービス事業

第3号 : 障がい者に関する各種の相談事業

第4号：障がい者に対する機能訓練事業

第5号：その他市長が必要と認める事業

② 事業の実施状況

上記事業のうち指定管理料で実施する事業（第1号、3号、4号、5号）について事業実績報告より次のとおり確認した。

第1号の事業

ア 延利用者数 9,747人（開所日数242日）（平成25年度）

		1級	2級	3級	4級	5級	6級	その他	
障 害 別	肢体	6,974	1,591	3,648	879	573	168	115	0
	聴覚	515	116	301	98	0	0	0	0
	内部	290	262	0	24	4	0	0	0
	視覚	1,740	1,288	403	49	0	0	0	0
	精神	113	50	38	25	0	0	0	0
	その他	115	0	0	0	0	0	0	115
	計	9,747	3,307	4,390	1,075	577	168	115	115

イ 1日平均利用者数 約40人

ウ 活動別利用状況（延利用者数）

活動メニュー	送迎	入浴	健康チェック	リハビリ	マッサージ	音楽療法	健康体操	三線	スポーツ教室	言語療法	リズム体操	書道	カラオケ	アロマセラピー	アート教室	陶芸	手話	絵画	交流	行事	その他	合計
	13,684	420	9,486	5,808	1,287	478	737	527	597	219	542	995	707	524	460	916	309	513	616	483	1,383	40,691

第3号の相談事業は、医療、福祉、生活、結婚、就職等各種相談を行っている。

第4号の機能訓練事業は、自主リハビリを希望する者への機能訓練としての場、交流の場の提供等を行っている。

第5号のその他の事業は、スポーツレクリエーション等を実施している。

(4) 収支予算計画書

収支予算計画書（平成21年度～平成25年度）は、各年度819万円で作成されており、管理運営に要する経費等について募集要項では次の旨記載されている。

① 指定管理料

「※申請の際の収支予算計画書（様式11）については、平成19年度の施設の収支決算書の資料1を参考に提案お願いします。」

② 指定管理料に含まれる経費

指定管理料には、人件費、事務費（通信運搬費、修繕費、委託費等）、事業費などすべてを含むものとする。

また、上記①指定管理料の資料1の平成19年度の施設の収支決算書の備考欄には、指定管理料（814万円）と業務委託料（3,340万円）は統合する旨記載があり、収支決算額は、4,154万円となっている。

3 監査委員の判断

請求人は、（一社）那覇身協との間で平成21年3月24日締結した基本協定の平成21年度から25年度までの指定管理料総額2億770万円（各年度4,154万円）は、平成20年10月1日に（一社）那覇身協が提出した申請書類の収支予算計画書に記載された指定管理料総額4千95万円（各年度819万円）で基本協定を締結すべきであると主張し、その差額1億6,675万円は、不当な支出であるとして損害賠償請求を求めている。

このことについて、以下のように判断する。

(1) 住民監査請求の期間制限について

請求人は平成21年3月24日締結の基本協定で定めた指定管理料が違法または不当であり当該基本協定に基づく支出が財務会計上の違法又は不当な公金の支出に当たるものと主張しその是正を求める趣旨である。

指定管理者の協定においては、基本協定とは、管理の基準、指定期間、業務の範囲、指定管理料の支払い、変更等の基本的事項について「基本協定書」として規定するものであり、各年度で行う業務内容、指定管理料等については、「年度協定」として、毎年度、地方公共団体と指定管理者との間で協議し規定するものである。よって、本件監査請求の対象となる財務会計上の行為は年度協定である。

年度協定の締結は、財務会計行為の契約の締結又は履行に該当することから法第242条第2項「前項の規定による請求は、当該行為のあった日又は終わった日から1年を経過したときは、これをすることができない。」の規定により期間の制限を受ける。

また、平成14年10月15日最高裁判所判決は、「法第242条第2項本文にいう当該行為のあった日とは一時的行為のあった日を、当該行為の終わった日とは継続的行為についてその行為が終わった日を、それぞれ意味するものと解される。前記事実関係によれば、本件監査請求においては、本件賃貸借契約の締結がその対象とされているところ、契約の締結行為は一時的行為であることから、これを対象とする監査請求においては契約締結日の日を基準として同項本文の規定を適用すべきである。」としている。

よって、本件監査請求では、年度協定の締結は一時的行為であることから、

ではなく、併せて市民サービスの向上も目的としている。

2 事実の確認の請求理由(4)の(3)において確認したとおり、事業内容、利用者数及びさまざまな障害種別、障害等級のある市民がセンターを利用している状況を考慮すると、センターの管理運営に必要な経費として支出した指定管理料は不当な支出には当たらない。

#### (4) 障がい者部会における審議について

障がい者部会における収支予算計画書に関する審議については、上記2事実の確認の請求理由の(4)の(1)において確認したとおり、平成20年7月23日、8月18日開催の障がい者部会において、予定候補者の選定について、事業実施要綱(案)、募集要項(案)、選定基準(案)等について審議を行っていることから、障がい者部会は予定候補者の選定に当たり、センター指定管理料は4,154万円相当であることを前提として(一社)那覇身協を予定候補者として選定したと思料される。

#### 4 結論

以上のことから、年度協定の締結及び事業の実施にあつては、違法性又は不当性について認められないことから、それに伴う公金支出は、市に損害を与えんとする請求人の主張には理由がないものと判断し、本請求を棄却する。

#### 5 監査委員の意見

障がい福祉課は、応募者から提出された申請書類について、申請書類の不備を防ぐため、応募申請された団体の書類を整理、点検し適切な状態に整えて候補者選定委員会に提出するべきであるが、(一社)那身協に対し一度は、書類の差替えを指導しているものの書類が再提出されてない事について改めて指導した形跡がない。これは、センターの指定管理者公募による応募団体が(一社)那身協1団体のみであったことに加え、当該団体は平成12年よりセンターの管理運営を受託し、指定管理者制度を導入した平成18年度当初から指定管理者としてセンターの管理運営を行ってきた実績があったこと等から障がい福祉課職員の緊張感の欠如による不適切な事務処理を行ったと思われる。

また、上記以外にも基本協定書に規定している書類が未整備であるなど適切に事務処理がなされていない状況が確認された。

(一社)那身協は、障害者の当事者団体であり指定管理者制度及び障害福祉に関する各種制度の手続きに精通しているとは言い難い。

障がい福祉課においては、当事者団体に対するより一層丁寧な説明と指導が求められると同時に、事業の執行に当たっては条例及び規則等に基づく適切な手続きと内部チェックの一層の強化を図ることを望むものである。